

事務事業名		健康まつり開催事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				担当組織	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課
	政策	1 健康で安心して暮らせるまちづくり				担当係	成人保健係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 心と体の健康づくりの推進				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 健康づくりの推進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	事業区分				
	7020	一般	4	1	2	健康まつり開催事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S58年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
						任意的事業・義務的事业		任意的事業		
						実施方法		一部委託		
						事業分類		講座・教室・イベント等開催事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし		
						市長マニフェスト		1-5		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)					
どまんなかフェスタ開催時に参加団体として開催。市民一人ひとりが、健康で生き生きと生活できるように、各種相談や健康づくり団体等の活動紹介など、健康に関する正しい知識の普及と健康づくりの意識向上を図ることを目的に開催する。		事前打ち合わせ、準備品等確認(8月) 関係団体等打合せ、各コーナー委託契約(足利歯科衛生士会、県栄養士会安足支部、県看護協会安足支部)(10月) 健康まつりの実施(11月)、健康情報提供、クイズ、健康チェック体験、健康相談、歯科相談、栄養相談、おくすり相談、骨密度測定コーナーを設け、健康に関する知識の普及啓発と健康づくりの意識向上を図った。					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
どまんなかフェスタ来場者数		人	40,000	43,000	42,000	43,000	43,000
健康まつり各コーナー参加者 延人数		人	2,741	2,554	3,515	3,515	3,515
参加団体数		団体	4	4	4	4	4

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
	市人口	人	123,182	122,582	121,522	120,683	120,683

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	市民が心身ともに健康でいきいきと生活できるようにする。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
		健康まつり各コーナー参加者延人数 /どまんなかフェスタ来場者数	%	6.9	5.9	8.4	8.2	8.2

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

市民が、健康に対する知識を深め、健康づくりに取り組んでもらう。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
	健康づくりに取り組んでいる市民の割合(市政に関するアンケート)	%	73.8	75.8	73.6	77.0	78.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(実績)		28年度(目標)		29年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	146		146		146		147		147	
	事業費計(A)	千円	146		146		146		147		147	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			需用費	46	需用費	46	需用費	46	需用費	47	需用費	47
			委託料	100	委託料	100	委託料	100	委託料	100	委託料	100
人件費	人	10		10		10		10		10		
のべ業務時間	時間	160		160		160		160		160		
人件費計(B)	千円	623		631		623		623		623		
トータルコスト(A)+(B)	千円	769		777		769		770		770		

事務事業名	健康まつり開催事業	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課	担当係	成人保健係
-------	-----------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	第一次国民健康づくり対策で昭和58年に佐野市保健センターが開設された。その記念事業として、また、健康増進の普及を目的に開催された。その後、県が実施主体となっていたが、事業が市町村に移行され、現在は、どまんなかフェスタと同時間開催で実施している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	旧老人保健法(平成20年に高齢者の医療の確保に関する法律に改称、条文なし)第14条の健康教育の実施を基に実施していた。老人に限らず、市民全体の健康への意識が高まっており、より専門的な知識が求められている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	参加団体から各団体の活動を紹介する場として、まつりの継続を望む声は、聞かれている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持のため対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	健康に関する知識の普及啓発を目的とするので、政策体系の心と体の健康づくりの推進と結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市民を対象とした、健康に関する知識の普及啓発を目的としているので、市で実施することが妥当である。民間委託すると、営利目的等による情報発信の恐れがあり、正しい健康に関する情報が伝わらないことが考えられる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市民を対象とした、健康に関する知識の普及啓発が目的なので、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	健康情報コーナー、健康チェック体験コーナー、健康相談コーナー、栄養相談コーナー、歯科相談コーナー、おくすり相談コーナーを設け実施しており、十分な成果がでている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は平成21年度に業務委託料の見直しを実施したが、参加者をより増加させようという現状において、これ以上の削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	市のイベントのため、受益者は不特定多数の市民であり、受益者は特定されず、負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	広く市民に対しての健康に関する情報提供の場なので、他にもっと有効的な手段があり、普及啓発の効果が上がる事業が考えられれば、本事業は廃止できると思う。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						